

実行計画（2025年度版）

THE CITY OF SUZUKA



目 次

I	実行計画について	
1	実行計画の位置付け	1
2	実行計画の構成	1
3	実行計画書の対象事業	2
4	実行計画書の編成・見直し	3
II	プロジェクト事業	
1	2025年度プロジェクト事業	4
2	プロジェクト事業の発信	9
3	プロジェクト事業の選定・見直し	9
III	事業費総括表	
1	事業分類別事業費総括表	10
2	ビジョン別事業費総括表	10
3	部局別事業費総括表	11
IV	実行計画	
1	ビジョン1：子どもが輝き 人と文化を育むまち	
(1)	事務事業一覧	1-1-1
(2)	実行計画書	1-2-1
2	ビジョン2：健やかに いきいきと暮らせるまち	
(1)	事務事業一覧	2-1-1
(2)	実行計画書	2-2-1
3	ビジョン3：生命と財産を守り抜ける 安全・安心のまち	
(1)	事務事業一覧	3-1-1
(2)	実行計画書	3-2-1
4	ビジョン4：自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち	
(1)	事務事業一覧	4-1-1
(2)	実行計画書	4-2-1
5	ビジョン5：持続可能な産業の発展と にぎわいや交流が生まれるまち	
(1)	事務事業一覧	5-1-1
(2)	実行計画書	5-2-1
6	ビジョン6：みんなで支える 自分らしく生きるまち	
(1)	事務事業一覧	6-1-1
(2)	実行計画書	6-2-1
7	議会費	
(1)	事務事業一覧	議-1-1
V	財政計画額	12



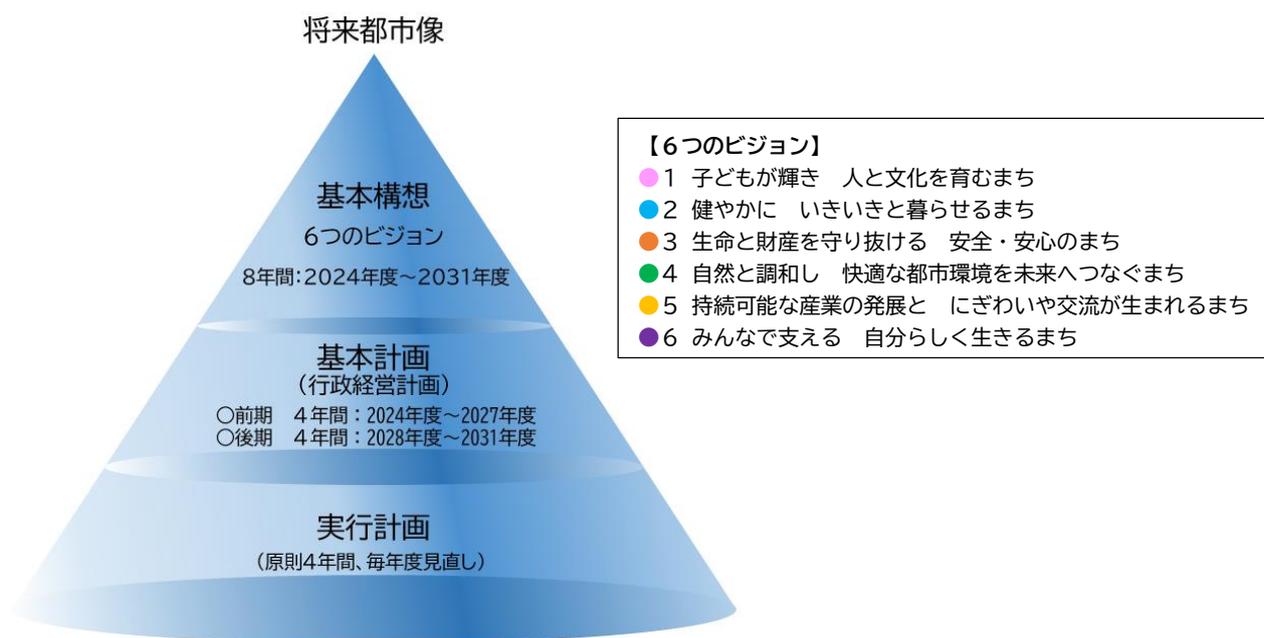
I 実行計画について

1 実行計画の位置付け

鈴鹿市総合計画2031は、第1層の「基本構想」、第2層の「基本計画」、第3層の「実行計画」の3層構造で構成し、それぞれが分野別の6つのビジョンでつながっています。

第3層（下図三角形の一番下）の実行計画では、第2層の基本計画で示された基本施策を具体化した事務事業を示します。

なお、実行計画は、原則4年間の計画としていますが、その内容は固定するものではなく、短期間での社会経済情勢の変化や実施効果に基づく成果の検証等により、毎年度ローリングさせながら、見直します。



2 実行計画の構成

実行計画は、前期基本計画における79の基本施策で定めた取組の方向性に基づき、個別の実施手段や事業費などを示す事務事業で構成します。

実行計画は、全事務事業を対象とし、年度ごとに作成する「事務事業一覧」と、事業実施の可否を政策協議する事務事業を対象とし、前期計画期間（令和6年度～令和9年度）における事務事業の実施目的や実施方法、財源、活動指標などを明らかにした「実行計画書」で示します。

実行計画のうち、本市の目玉となる事業や交流・関係・定住人口の拡大につながる効果的な事業を「プロジェクト事業」として示し、シティプロモーションの展開を図ります。プロジェクト事業は、多様な媒体で情報発信を行うことで、本市の魅力をPRします。

なお、収支バランスを図りながら、持続可能なまちづくりに向けた取組を進めるため、実行計画書における各年度の計画額等を集計した「財政計画額」を示します。

3 実行計画書の対象事業

事務事業の性質に応じた行政評価を行うとともに、実施の可否を政策協議する事務事業を明確にするため、実行計画（全事務事業）を次の8つの分類（以下「事業分類」という。）に区分した上で、**事業分類1～3**に該当する事務事業を対象に実行計画書を作成しています。

1：すずか推進事業

市の裁量によって実施している事業（法令等による事業であっても市単独事業として支給額や対象範囲などを拡大する事業を含む。）

2：インフラ施設等整備事業

公共施設等総合管理計画に基づくインフラ施設等の投資的事業

3：公共建築物等整備事業

公共建築物個別施設計画に基づく公共建築物長寿命化改修等の投資的事業（付帯設備や周辺施設の整備を含む。）

4：インフラ施設等維持管理事業

インフラ施設等の維持修繕及び維持管理

5：公共建築物等維持管理事業

公共建築物等の維持修繕及び維持管理

6：法令等に基づく事業

法令等により実施が義務付けられている事業（市の裁量の余地なし）

※ただし、市単独事業として支給額や対象範囲を拡大する事業は事業分類1

7：内部管理事務

組織や職員を管理するために必要になる事務

8：固定的経費

固定的な経費の支出など、決算等により説明責任を果たすことができる経費

4 実行計画書の編成・見直し

実行計画書（事業分類1～3）の編成・見直しを行うための政策協議（レビュー）を、ファーストレビュー（以下「1st Rev」という。）とセカンドレビュー（以下「2nd Rev」という。）、サードレビュー（以下「3rd Rev」という。）の年度ごとに原則3回実施します。ただし、レビューの実施回数や時期、協議の進め方は、必要に応じ見直し、改善を図ります。

なお、令和6年度は計画初年度であるため、一部形式を変更して政策協議を実施します。

（1）1st Rev（年間目標の達成に向けた政策協議）

1st Revは、前年度の政策協議（3rd Rev）の結果等を部局の年間目標に反映した上で、年度当初に、市長・副市長と各部局の年間目標を共有するとともに、「みんなの目標」の実績値（SNS活用）を参考として、当該年度の取組の進め方等について協議する場として実施します。

（2）2nd Rev（基本施策の成果指標（目標値）の達成に向けた政策協議）

2nd Revは、年度当初（5月～6月）に行政評価（自己評価）を実施した後、基本施策の成果指標が達成できなかった基本施策を中心に、達成に向けた実行計画の見直しなど、今後の改善内容を共有するための場（内部評価）として実施します。

市長、副市長に対して、原則、各部局単位で部局長が成果指標の達成度を中心に説明を行い、必要なヒアリング等の実施や、次年度の新規・拡充事業を含め、政策的方針に係る協議を行う形式とします。

2nd Revの結果は、市長指示事項として庁内に共有し、指示内容を踏まえた実行計画の見直し等について3rd Revで協議します。

（3）3rd Rev（実行計画編成に向けた政策協議）

3rd Revは、内部評価（2nd Rev）及び外部評価の結果を受け、実行計画を編成するための協議の場として実施します。

新規の実行計画、廃止する実行計画、事業内容や計画額などの見直しを行う実行計画を対象とし、財政状況を踏まえた計画査定を行うため、予算ヒアリングと併せて実施します。事業の選定及び実行計画の編成は、協議結果を踏まえ、市長、副市長、政策経営部長、総合政策課長、財政課長及び市長が指名する職員で審議し、市長が決定します。



Ⅱ プロジェクト事業

1 2025年度プロジェクト事業

2025年度は、次の3つのプロジェクトを推進し、より効果的な情報発信を行うことで、本市の魅力のPRとシビックプライドの醸成を図ります。

プロジェクト事業① | 人口減少対策パッケージ

笑顔😊あふれる鈴鹿づくりプロジェクト

人口減少抑止策の「地方に仕事をつくる」、「人の流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「魅力的な地域をつくる」という4つの方向性に資する事業や、人口減少社会適応策のうち、地域コミュニティの活性化など、みんなが笑顔で生きがいを持って暮らせるまちづくりに寄与する事業の中から、次の事業を中心とした『笑顔😊あふれる鈴鹿づくりプロジェクト』を進めます。

特定不妊治療の助成		妊婦支援給付金		多目的スポーツ広場の運営	
不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、治療に要する費用の一部を助成します。		妊娠届出時の面談と出産後の赤ちゃん訪問を実施した妊産婦などに対して、伴走型相談支援とともに、出産育児関連用品の購入や子育てサービスの利用に係る経済的支援を行います。		鼓ヶ浦サン・スポーツランド多目的スポーツ広場を運営し、スケートボードなどのアーバンスポーツの普及や裾野の拡大を図ります。	
11102	不妊治療助成事業	11311	出産・子育て応援事業	14202	多目的スポーツ施設整備事業
				14252	スポーツ施設管理運営事業
●こども保健課		●こども保健課		●スポーツ課	

風しんワクチン接種の助成		学官連携による桜の森公園の魅力向上		移住支援金に係る子育て世帯分の加算	
生まれてくる赤ちゃんの「先天性風しん症候群」の発症を予防するため、妊娠を希望する女性やその配偶者などが行う風しんワクチン接種の助成を行います。		桜の森公園に隣接する鈴鹿医療科学大学と連携し、同公園内に薬膳を提供する飲食店を整備し、賑わいの創出や市民の健康増進につなげます。		移住支援金の支給額について、子育て世帯へ加算措置を行うことで、移住定住の促進を図ります。	
21310	任意予防接種事業	43302	公園施設整備事業	43502	移住・定住促進事業
●地域医療推進課		●市街地整備課		●住宅政策課	

「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」の実施		首都圏における企業立地や就職・転職フェアの開催	産業用地の開発支援制度の創設
産学官連携による「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」を推進し、求職者と企業をマッチングする取組を進めます。		企業立地フェアや就職・転職フェアを開催し、企業誘致とU I J ターン就職の促進を図ります。	企業立地を促進するため、開発事業者に対する支援制度を創設します。
52103	雇用経済政策推進事業	51101 企業立地推進事業 52103 雇用経済政策推進事業	51101 企業立地推進事業
●産業政策課		●産業政策課	●産業政策課

大阪・関西万博でのプロモーション		コクリエイトスズカによる公民連携の推進	東京事務所の運営
大阪・関西万博において、鈴鹿のお茶をPRするブースを出展します。また、県ブースにおいて、伝統産業を活用したPRを行うことで、観光誘客につなげます。		公民連携総合対話窓口(コクリエイトスズカ)の取組により民間のノウハウを生かし、住民サービスの向上を図ります。	経営資源の獲得につなげるため、首都圏における本市の拠点として東京事務所を運営・活用し、国等の機関からの情報収集やシティプロモーションを進めます。
63102	シティプロモーション事業	63104 公民連携推進事業	63109 東京事務所運営事業
54201	地域資源発掘活用事業費		
●総合政策課 ●商業観光政策課		●総合政策課	●東京事務所

女性の参画促進と人材育成		情報発信や相談体制の多言語化	オンライン初級日本語教室の開催支援
民学官が一体となって取り組む「SUZUKA女性活躍推進連携会議」を中心に、あらゆる分野における女性の参画の促進と人材育成に取り組めます。		やさしい日本語や多言語通訳タブレットの活用を図り、情報発信や相談体制の多言語化を推進します。	鈴鹿国際交流協会が企業で働く外国人市民向けに開催するオンライン初級日本語教室に対する支援を行うことで、外国人労働者の日本語学習環境を整えます。
61302	男女共同参画基本計画推進事業	61401 多文化共生推進事業	61402 鈴鹿国際交流協会補助
●男女共同参画課		●市民対話課	●市民対話課

プロジェクト事業② | 子育て支援パッケージ

最高に子育てしやすいまち鈴鹿プロジェクト

最高に住みやすいまち鈴鹿に向けて、子育て・教育環境の整備に注力し、より効果的な事業展開を図るため、次の事業を中心とした『最高に子育てしやすいまち鈴鹿プロジェクト』を進めます。

こども条例に基づく こどもに関する施策の推進		子育て家庭への支援強化 (こども誰でも通園制度)		保育補助者の雇上げ支援	
鈴鹿市こども条例のもと、こどもの権利を守り、地域社会全体でこどもの健やかな育ちを支え合うまちづくりを進めます。		令和8年度から本格実施する「こども誰でも通園制度」に向けた準備を進め、子育て家庭への支援強化を図ります。		私立保育所等における保育士補助者の雇上げに必要な経費を補助し、保育人材の確保につなげます。	
11151	子ども・子育て支援事業計画推進事業	11223	乳児等のための支援給付事業	11224	私立保育所等保育補助者雇上強化事業費補助事業
●こども政策課		●こども育成課		●こども育成課	

子育て応援講座の開催		こども家庭センターの 運営		5歳児健診と 健診後の早期支援	
子育て応援講座を開催し、イライラしない子育てのコツや実際の対応等を学んでいただく機会を創出します。		母子保健の機能と児童福祉の機能を併せ持つ「こども家庭センター」を運営し、一体的な支援につなげます。		小学校入学前から、こどもの発達状況を早期に把握し、支援につなげていくために、5歳児全員を対象とした5歳児健診を引き続き実施します。	
11302	児童虐待・DV対策等総合事業支援	11302	児童虐待・DV対策等総合支援事業	11303	途切れのない支援事業
		11309	妊娠出産包括支援事業		
●こども家庭支援課		●こども家庭支援課 ●こども保健課		●こども家庭支援課	

1 か月児健康診査の実施		母子健康手帳の電子化		妊婦支援給付金 【再掲】	
乳児に対する健康診査について、生後 1 か月児を対象に、病気を早期に発見し、適切な助言を行います。また、養育者に対し育児指導を行います。		「すずっこ子育てアプリ」から母子健康手帳の交付予約や各種アンケートの回答、イベントや教室のオンライン予約ができます。		妊娠届出時の面談と出産後の赤ちゃん訪問を実施した妊産婦などに対して、伴走型相談支援とともに、出産育児関連用品の購入や子育てサービスの利用に係る経済的支援を行います。	
11308	妊婦乳幼児健康診査事業	11310	母子保健推進事業	11311	出産・子育て応援事業
●こども保健課		●こども保健課		●こども保健課	

産後ケア事業の実施		教育 I C T の推進		ほっとルームの運営	
退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートなどの、きめ細かな支援を行う産後ケア事業を実施します。		児童生徒の一人 1 台端末、デジタル教科書など、I C T を活用した教育活動の充実を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現します。		「ほっとルーム」（校内サポート教室）を運営し、学校での居場所づくりを行うことで、登校しやすい環境を整えます。	
11309	妊娠出産包括支援事業	12151	教育情報化推進事業	12203	不登校対策推進事業
●こども保健課		●教育政策課		●教育支援課	

未来応援人 ～FOR YOUR FUTURE～		小・中学校屋内運動場の エアコン完備		子ども医療費（現物給付） の拡充	
豊かな経験や高い見識を有する地域人材を活用した授業や体験活動等を実施します。リアルとデジタル、人との出会いと教育 D X の最適な組合せによる事業を展開します。		こどもたちの熱中症対策や災害時における避難所の環境改善につなげるため、小・中学校の屋内運動場に低コスト送風型エアコンを設置します。		子育て世帯の経済的負担を軽減するため、順次、市独自で制度の拡充を行ってきた子ども医療費について、助成制度の対象と窓口無償化を 18 歳まで拡大します。	
12302	未来応援人事業	12503	小学校教育施設環境整備事業	21205	子ども医療事業
		12505	中学校教育施設環境整備事業		
●教育指導課		●教育政策課		●福祉医療課	

プロジェクト事業③ | DX推進パッケージ

鈴鹿市55（ゴーゴー）DX推進プロジェクト

DXを推進する55の基本施策のうち、次の事業を中心とした『鈴鹿市55DX推進プロジェクト』を進めます。

母子健康手帳の電子化【再掲】	中学校における電子書籍の活用	教育ICTの推進【再掲】
「すずっこ子育てアプリ」から母子健康手帳の交付予約や各種アンケートの回答、イベントや教室のオンライン予約ができます。	こどもたちの読書活動を促進するため、中学校において、時間や場所を選ばず、読書ができる電子書籍を貸し出します。	児童生徒の一人1台端末、デジタル教科書など、ICTを活用した教育活動の充実を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現します。
11310 母子保健推進事業 ●こども保健課	12105 読書活動推進事業 ●教育指導課	12151 教育情報化推進事業 ●教育政策課

文化財のデジタルアーカイブ	電子図書館の開設	総合防災情報システムの整備
郷土資料室に収蔵している古文書や伊勢型紙などの資料がウェブサイト上で検索・閲覧できるデジタルアーカイブシステムを運用します。	市立図書館に、電子書籍の閲覧と貸出ができる環境を整え、利用者サービスの拡大を図ります。	災害時に確実かつ迅速に情報発信を行えるよう、防災DXとして、情報収集の自動化や複数の媒体に情報発信を一斉に行う機能を備えた総合防災情報システムを導入します。
13503 一般文化財活用事業 ●文化財課	13301 図書館サービス推進事業 ●図書館	31105 総合防災情報システム整備事業 ●防災危機管理課

バス・ロケーションシステムの導入		情報発信や相談体制の多言語化【再掲】	シティプロモーション動画の活用
C-BUSの現在位置がスマートフォン等から検索できるように、バス・ロケーションシステムを導入します。		やさしい日本語や多言語通訳タブレットの活用を図り、情報発信や相談体制の多言語化を推進します。	双方向機能を備えたシティプロモーション動画を有効活用し、市の魅力を専用サイトやSNS等で積極的に発信します。
43402	西部地区C-BUS運行事業	61401 多文化共生推進事業	63102 シティプロモーション事業
43403	南部地区C-BUS運行事業		
●都市計画課		●市民対話課	●総合政策課

住民窓口における混雑状況の見える化		生成AIの活用とオンライン申請の拡充	市公式LINEなどSNSの活用
住民窓口の案内システムにより、混雑状況をウェブで確認できるなど、窓口サービスの向上を図ります。		生成AIやオンライン申請システムの活用などにより、DXを推進し、業務の効率化と住民サービスの向上を図ります。	鈴鹿市公式LINE等のSNSを積極的に活用し、市政情報のより効果的・効率的な発信を行います。
63369	戸籍住民基本台帳管理業務	64101 DX推進事業	64205 SNS広報事業
●戸籍住民課		●総合政策課	●情報政策課

2 プロジェクト事業の発信

各プロジェクト事業は、それぞれ情報発信の素材（動画、ポスター、ちらし等）を作成し、各種イベントで活用するほか、SNSやデジタルサイネージなど多様な媒体で情報発信します。

また、より効果的にシティプロモーションを展開するため、ターゲット層に合わせた内容とする等、戦略的な情報発信に取り組みます。

3 プロジェクト事業の選定・見直し

プロジェクト事業は、市長・副市長と幹部職員による政策協議、予算編成過程等を経て、毎年度、市長が選定します。ただし、より効果的な運用を図るため、補正予算等に合わせて柔軟に事業の追加等の見直しを行います。



Ⅲ 事業費総括表

1 事業分類別事業費総括表

(単位：千円)

事業分類	2024年度 最終予算額	2025年度 当初予算額	2026年度 計画額	2027年度 計画額	合計
1 すずか推進事業	17,771,199	17,464,652	18,385,568	18,428,186	72,049,605
2 インフラ施設等整備 事業	3,227,411	2,556,465	3,742,019	3,683,484	13,209,379
3 公共建築物等整備事 業	2,324,557	3,230,195	6,027,893	3,275,720	14,858,365
合計	23,323,167	23,251,312	28,155,480	25,387,390	100,117,349

※実行計画書（事業分類1～3）のうち、一般会計（事業費）を積み上げた総額になります。

2 ビジョン別事業費総括表

(単位：千円)

ビジョン	2024年度 最終予算額	2025年度 当初予算額	2026年度 計画額	2027年度 計画額	合計
1 子どもが輝き 人と 文化を育むまちづくり	10,251,115	9,509,302	10,363,676	10,236,010	40,360,103
2 健やかに いきいき と暮らせるまち	5,437,499	5,529,567	5,614,314	5,617,661	22,199,041
3 生命と財産を守り抜 ける 安全・安心の まち	3,009,617	3,181,038	3,569,242	3,839,361	13,599,258
4 自然と調和し 快適 な都市環境を未来へ つなぐまち	1,257,071	1,733,100	5,330,518	2,333,306	10,653,995
5 持続可能な産業の発 展と にぎわいや交 流が生まれるまち	1,445,823	1,613,939	1,601,297	1,806,211	6,467,270
6 みんなで支える 自 分らしく生きるまち	1,922,042	1,684,366	1,676,433	1,554,841	6,837,682
合計	23,323,167	23,251,312	28,155,480	25,387,390	100,117,349

※実行計画書（事業分類1～3）のうち、一般会計（事業費）を積み上げた総額になります。

3 部局別事業費総括表

(単位：千円)

部 局	2024年度 最終予算額	2025年度 当初予算額	2026年度 計画額	2027年度 計画額	合計
危機管理部	146,021	129,403	532,779	703,523	1,511,726
政策経営部	83,694	76,633	68,371	72,798	301,496
総務部	1,495,234	1,220,117	1,223,517	1,119,498	5,058,366
地域振興部	342,740	387,183	384,112	362,112	1,476,147
文化スポーツ部	224,018	164,103	157,871	158,258	704,250
環境部	664,984	1,114,255	4,411,302	1,668,185	7,858,726
こども政策部	6,549,004	6,404,263	6,927,614	6,947,990	26,828,871
健康福祉部	5,428,450	5,527,149	5,610,929	5,614,876	22,181,404
産業振興部	1,445,823	1,613,939	1,601,297	1,806,211	6,467,270
土木部	2,624,006	1,961,020	2,725,276	2,510,726	9,821,028
都市整備部	560,137	578,079	878,450	624,355	2,641,021
上下水道局	31,950	40,766	40,766	40,766	154,248
教育委員会事務局	3,478,093	2,940,936	3,278,191	3,129,762	12,826,982
消防本部	248,639	1,093,033	314,572	627,897	2,284,141
その他	374	433	433	433	1,673
合計	23,323,167	23,251,312	28,155,480	25,387,390	100,117,349

※実行計画書（事業分類1～3）のうち、一般会計（事業費）を積み上げた総額になります。



IV 実行計画
